

不登校児童生徒の理解と 保護者への支援

開善塾教育相談研究所
所長 藤崎 育子



独立行政法人教職員支援機構

1 内容

1. はじめに 担任の先生が大切
2. 保護者支援の実際
3. それでも学校に戻れなかったら
4. 家庭訪問の実際
5. 終わりに 春風のように



2 保護者支援の実際

○大事なこと 保護者に恥をかかせない

- ・約束はなるべく保護者の都合に合わせて
- ・面談時の座り方
- ・お茶を出す
- ・保護者を安心させる



3 それでも学校に戻れなかった時には

1. 子どもの家を分校と考えるのも一つの方法

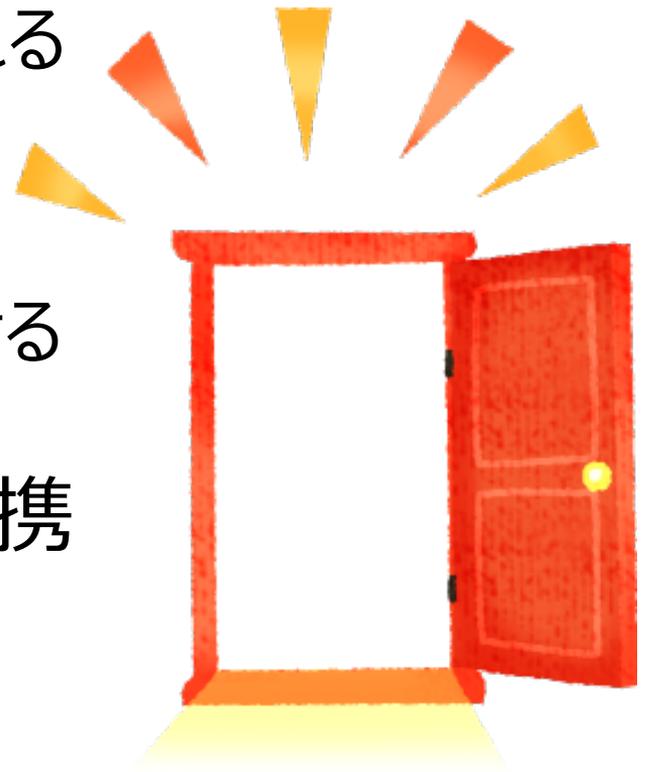
- ・家での子どもの行動を評価
- ・学校はいつでも柔軟に受け入れる

2. あきらめない

- ・保護者とつながる努力をし続ける

3. 専門機関との積極的な連携

- ・子どもを預けたままにしない



4 家庭訪問の実際

百人百様の家庭訪問を

○ 「こわい」と思われないように・脅威とならないように

○ まずは子どもの内面に触れないように

○ 子どもの宝物

○ 遊ぶ

○ 一緒にいる

○ 時間より回数

○ 安心させる

子どもと仲良くなる

1対1の関係が大切



5 終わりに

毎日行きたくなる楽校を目指して

○先生は自分の表情に気をつける！
目が大切…… あたたかい眼差し

○先生は医者役者易者

春風のように



ご清聴ありがとうございました